



べにまる

「輝きを未来に」

- 自ら学ぶ子 ○思いやりのある子
- 最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和4年2月28日

発行責任者 松原 康雄

## 地域とともに子どもの学びを進める

松原 康雄

3学期はあっという間に進み、残りあと一ヶ月となりました。児童の登校日数も、1～5年生は17日、6年生は14日を残すのみです。各学年では一年のまとめに取り組み、6年生は卒業式に向けての取り組みが始まりました。今年の卒業式も新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年同様、在校生は3年生以上の参加とし、ご来賓の方をはじめ出席者を限定した形で行います。本来であればこれまでお世話になった多くの方に見守られ、祝福された形での卒業式を行いたかったのですが、こればかりは仕方ありません。それでも子どもたちの心に残る卒業式を精一杯行いたいと思います。

また学校では新年度に向けての動きも始まりました。前期児童会役員選挙・立会演説会が2月9日にテレビ放送を使って行われ、新児童会三役が決まりました。立候補者はそれぞれ学校を良くするための取り組みを公約として発表し、“一生懸命に頑張る”意欲を感じさせる内容でした。留寿都小学校の児童の代表として、大いに活躍してくれることでしょう。

さて、今年度も学校での授業に地域や保護者の力を大いにお貸しいただき、ありがとうございました。読み聞かせや学級園の整備、栽培指導、農業体験、裁縫指導、スキー授業支援等をはじめ、ボランティアやぽてとの会、JA青年部、留寿都高校等さまざまな方にお世話になりました。教師による指導だけでなく、多くの大人が子どもたちの教育に携わることで、学習内容にも奥行きが増し、また子どもたちの地域への愛着が一層育まれることと思います。留寿都の子どもたちはこのように恵まれた環境で学びを進めることができ、本当に幸せだと思います。今年度は残りわずかですが、よろしくお願い致します。

# スキー学習無事終了

今シーズンも、無事にスキー学習が終了しました。特に低学年では多くのボランティアの協力により、初めてリフトに乗ってスキーを滑る1年生も、安全に楽しく学習することができました。保護者の方も、用具の準備や学校への運搬などご協力をいただきました。重ねてお礼申し上げます。



# 令和4年度前期児童会役員選挙

児童会役員選挙も感染症対策として、テレビを通しての演説となりました。全校児童が集まる機会が設定できない中でも、立候補者と責任者、選挙管理委員はしっかりとカメラの前で話すことが出来ました。学級では、演説後投票し、立候補者全員が信任されました。

